



〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31
公益財団法人 現代人形劇センター内
TEL : 044-777-2228 FAX: 044-777-3570
e-mail : deaf@puppet.or.jp
URL: http://deaf.puppet.or.jp/

Twitter, Facebook もやっています!

Twitter DEAF_PUPPET

Facebook 「デフ・パペットシアター・ひとみ」



by 大里千尋

日々制作..



by 吉村衣世

2018 年の 2 月デフパペは 6 年ぶりの新作を発表する予定です。

入団してから初めていちから作品をつくる現場に関わる
ことになりドキドキしています。

今回はメンバー一人一人の人生や思いが作品の中に織り
交ぜられるよう、演出・脚本をお願いする立山さん※と
先日顔合わせ及びヒアリングを行いました。

立山さんからの問いに、長年一緒に活動してきたメン
バー同士でも初めて聞くような思いもたくさん知ることが
できました。

善岡さんがどのようにして言語を習得してきたのか、
榎本さんがこの世の中に「言葉」があると初めて知った
のはいつなのか、

やなせさんが 36 年間劇団で活動をして感じることは
は・・・?

なぜ今みんながこの場にいるのかを再確認し、どこへ向
かうべきなのかに少し触れることのできた良いスタート
をきれた一日。

私たちが本作品を通して、社会に投げかけたいテーマは、
「共生」です。

人種、国籍、宗教、性別、障害、様々な違いを抱えて生
きる現代の我々にとって「共生」とは何なのでしょう?

一緒に活動してきた私たちだからこそ出来る創作を丁寧
に、ただただ丁寧に考えている間に、きっと 1 年後はあ
っという間にきてしまうのでしょうか。

どうぞ、お楽しみに!

※立山ひろみさん・・・演出家。劇作家。オペラシアターこん
にゃく座や劇団うりんこの作・演出。現在宮崎県立芸術劇場の
演劇ディレクターも務めている。

手話を習いたての頃「雪」の手話がとてもきれいだな
あと思いました。親指と人差し指で作ったマルをふわ
ふわと上から下へ動かす動作。雪景色が絵本の中の世
界だった地域育ちの私は、素敵だなーとロマンを味わ
ってました。

そんな雪に、先月埋もれました。北陸地方を中心に色々
お話して歩いているときのこと。路面が凍結・電車運
転見合わせ・会館休業、雪国の洗礼を受けた日でした。
ふらふらへっぴり腰で歩いていると、「つるてんとん
ぴしゃっ」と転んでしまいました。ハッと周りを見る
とあのふわふわとしているはずの雪が、ピシピシと上
からすごい勢いで降っています。

こんな日は家でゆっくりするに限るよと一人でベソを
かいていましたが、よく考えるとそんな日にも関わら
ずたくさんの方がお話を聞いてくださったり、会議の
場まで出てきてくださったり…ほんとうにありがたく
って、その温かさにくちがじんわり。

そんなことを今さら実感していると「しゅべるねえー」
とかわい声が。目をやると向かい側から歩いてきた
4 才くらいの男の子が声をかけてくれました。寒い時
ほど、ひとのあったかさがじんわり。心は春です。

3 月は、11 日に京都、25 日に富山、27 日に長岡で上演
します。険しい冬を乗り越えた各地の主催者さん、実
行委員さんとの公演。とっても楽しみです。みんなであ
ったかく、一緒に春を迎えられたらと思います。

みんなでワークショップ &表現の市場レポート

第3回、「表現の市場」第三部「みんなでワークショップ」は、宮沢賢治が書き残した童話の「セロ弾きのゴーシュ〜ぶかぶか版〜」でした。昨年夏から月に1回、土曜日に集まって、みんなでワークショップをしました。ぶかぶかさんと、地域の参加者さん、デフパペ、そして今回は日本フィルハーモニー管弦楽団のチェロ奏者さん、と一緒に創りあげました。

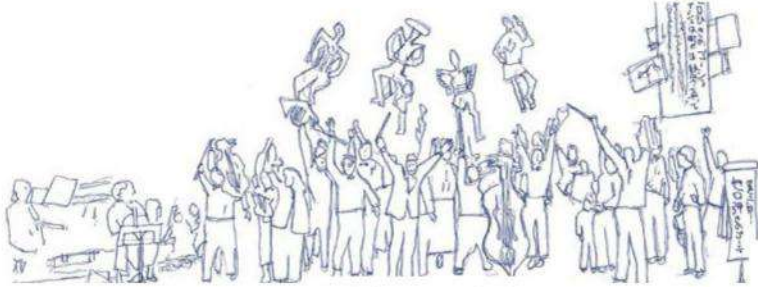
毎回思うことですが、「みんなでワークショップ」の「みんな」と創る舞台は他では観られないものです。台本はありますが、そこに無い事がたくさんおこります。例えば今回はトラが登場しますが、トラがゴーシュに「アルゴリズム体操」を弾かせて踊ります。これはワークショップの中で自然に始まったことです。この場面になるとみんなが楽しそうととてもいいのです。こんな感じで自然に生まれた場面がチラホラ…ほぼ全部？「みんな」の底力、すごい！たくさん登場する段ボール楽器たちも手作り、舞台の背景やロビーに飾られた文字もぶかぶかのみなさんの力強い手書き……。この、文字を活かして、今回は「注文の多い料理店」をやろう、と、榎本が提案したおかげで、話がすすみそうです。今回は、デフパペ自慢の手話表現「雨二モマケズ」の場面もたっぷりあり、皆さんに手話に触れて頂くこともできました。終わるといつも何だか涙がでそうになるこの舞台、来年も楽しみです。

ぶかぶかの高崎さんの言葉より……

「表現の市場」では「障害者はいた方がいい」「障害者は生きている意味がある」というメッセージを舞台で表現します。障がいのある人たちがいてこそできる素晴らしい舞台です

一緒に舞台に立っているとこの言葉が身に沁みます。この言葉はちゃんと芝居に込められ、たくさんの観に来て下さった皆さんに伝わっていると思います。

【ぶかぶかさんは……パン屋、カフェ、お弁当・お惣菜屋、アートのお店を街の中につくり、地域の方々とのふれあいを大事にした就労継続支援B型の事業所です】



画・榎本 トオル

★新人紹介★

はじめまして。2月よりデフ・パペットシアター・ひとみの制作に入りました、中西優樹というものです。

制作の仕事、デフシアターのこと、人形劇のこと、様々なことが未経験のことばかりなので、ワクワクドキドキしながら毎日を過ごしています。しかし、実は手話に関しては初めてではなかったりもします。大学時代に、一時期手話サークルに入っていたことがあるからです。

なぜ手話サークルに入ったのか？お恥ずかしい話ですが、最初に手話サークルに入ろうと思った理由は、当時憧れていた女の子が手話サークルにいたからという下心からでした。

しかし、そのサークルで手話を学んでいく内に、手話の奥深さや耳が聞こえない人とも会話できるということの素晴らしさをほんの一端ですが感じる事ができたと思います。

そんな自分がデフ・パペットシアターひとみで手話に関する仕事に携わることになりましたのも、一種の運命を感じております。同時に、もっと真面目に手話を練習していればなあ…なんてことも。

自分が大学時代に感じた思いを忘れないようにして、皆様に楽しい時間を届けていけるように頑張っていきたいと思っています。

ちなみに、女の子にはフラれました。

まだまだ未熟者で、みなさんのお世話になることも多いと思いますが、これからよろしく願いいたします！

3か月に一度のこんには

By 鈴木 香澄

共生とは……『いっしょに生きてゆくこと。』辞書を開くとこう書いてありました。

なぜこの言葉を調べようと思ったのかというと2018年2月にデフ・パペットシアターひとみの新作が始まります。

その大きなテーマが『共生』なのです。

私は昨年入団してから初めての新作ということでこの公演に関わってくださる演出家の方やメンバーのみんなで1から作り上げていく作品なのでとても楽しみで仕方ありません。

そんな私、、、

演出家さんを含めた第一回目の大事な話し合いの日に、インフルエンザにかかってしまい泣く泣く欠席してしまいました！！(>_<)

何してんだ私は、、、

この日はみなさんで今までの自分が日々の中で感じてきた違和感を話し合ったり、共生というテーマをどんな風に作品に取り入れていこうかなど、とても濃い内容のヒアリングが行われたそうです。

それぞれの自身の経験が、こうして物語の土台となりひとつの作品になっていくということはとても現実味のあるメッセージが生まれて観て下さる人の心に深く響いていくに違いないと私は思っております

新作には『河童』が出てきます。

私たち人間と河童がいっしょに生きてゆけるのか。

どんな世界になるのでしょうかね！！

私も今から楽しみです！！

すずきがすなはら

【新作キックオフ】

2月23日、新作に向けて、昨日制作陣の初ミーティングと演出家との顔合わせとヒアリングを行いました。

タイトル決定！

「河の童-かわのわっぱ-」。

2018年2月22~25日、初演は地元・川崎市で行います。

今回の公演の取り組みを通して、川崎市の福祉と文化を繋ぐ新しい客層・ネットワーク作りと、ろう者と聴者が創造する新しい演劇作品を、あらゆる方と共に体験する時間を創造することで、地域社会に多様性を受け入れる新しい文化を創出していくことを目指します。